

● 介護認定審査会委員の役割

介護認定審査会の判定は、高齢者が介護サービスを利用し、自分らしい生活を送れるようにするために不可欠です。介護認定審査会委員の役割は、介護保険制度の公平性を保ち、制度全体の信頼性を維持するためにも非常に重要で、その仕事は、専門的な知識や経験を生かし、高齢者の生活を支えるものです。



介護認定審査会の様子

介護サービスで無理のない生活を

普段はデイサービスセンターで、レクリエーションの担当をしています。介護認定審査会では、介護現場での経験と社会福祉士の専門知識をもって審査に当たっています。

介護認定審査会では、医師や看護師、ケアマネジャーといった専門職がそれぞれの目線で協議します。申請者が日常生活においてどのようなことが大変なのかを考え、コンピューターでは加味されない部分をくみ取りながら申請者の実情に合う判定となるよう審査します。

お一人お一人の人生を背負うようで重責を感じますが、困っている人の役に立ちたいとの思いから毎回気合を入れて考えをまとめ、申請者が介護サービスを利用して無理なく生活を続けられるお手伝いをしたいと心がけています。



介護認定審査会委員
老人福祉施設こころつくし
デイサービスセンターこころつくし
わく い ゆうすけ
涌井 佑輔さん

● 介護認定調査にタブレットを導入しました

介護認定において、介護認定審査会委員とともに重要な役割を担うのが調査員です。その仕事は、専門的な知識や経験を生かし、要介護度を判定するための資料である調査票を作成することです。

一方で、複雑な調査基準の理解や習得に時間がかかることなどが課題となっていました。

こうした課題に対応するため、三条市では、デジタル技術を活用した業務改善の取り組みの一つとして、今年度からタブレット端末を導入し認定調査をしています。



タブレット導入によるメリット

① 認定の均一化

タブレットを導入することで手順が統一され、文章の表現や構成の定型化が図られました。

② 作業の効率化

調査項目の選択式入力などで、調査票の作成や確認に要する時間が短縮され、処理できる件数が増えました。

③ 調査のペーパーレス化

これまで紙で記録していた調査内容を電子化でき、資源や経費を抑えられるようになります。

特集

未来へつなぐ 介護を支える力



介護の未来を支える人材の確保に向けて



高齢介護課

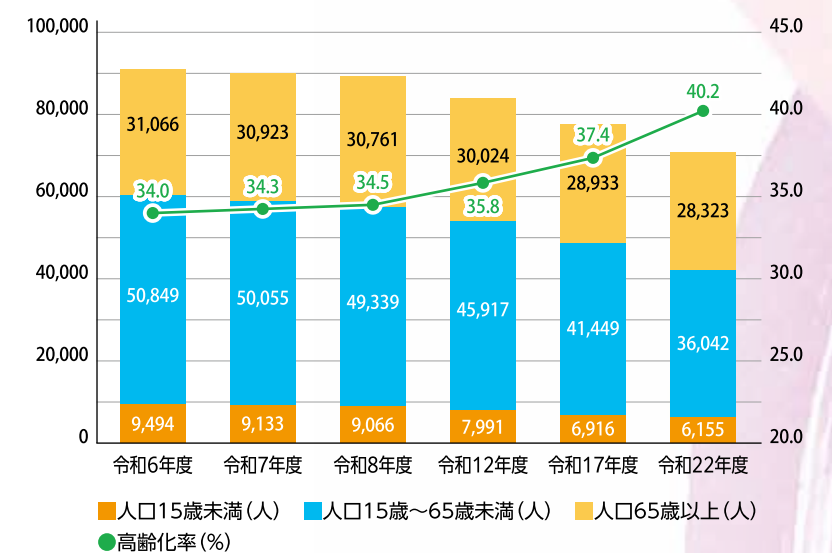
☎34-5475

自分はまだ大丈夫…と以为ていても、介護が必要になるタイミングは突然やってきます。住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、頼りになるのが「介護サービス」です。

少子高齢化などを背景に、本市においても総人口が減少する中、高齢化率は上昇する見込みです。介護サービスの需要はさらに高まる傾向にあり、人材確保が課題となっています。

本特集では、三条市が、さらなる高齢化を見据え、介護サービスの質の維持、向上を図るために取り組んでいる、職場環境の改善や人材の確保、育成などについてお伝えします。

三条市の人口の高齢化率の将来推計



● 介護の安心を支える 要介護認定

いざ介護が必要になったとき、どこに相談し、何から始めたらよいのか戸惑う人も多いと思います。

日常生活で困り事が増えて、介助が必要になり、介護サービスを利用したいときには、要介護認定を申請できます。

要介護認定は、市が設置する介護認定審査会において審査し判定します。介護認定審査会は、医師、保健師、看護師、社会福祉士、介護支援専門員(ケアマネジャー)などで構成した審査機関です。



要介護認定申請の流れ

